

崇ちゃん設定書

①生まれ

挙母藩・藩校「崇化館」が立てられた天明7年（1787年）ごろ
妖怪の男の子

②性格

わんぱくでいたずら好き、でも寂しがり屋
友達がほしくて藩校に出没し、時には武士の子に混ざって一緒に勉強したりしていた。
武士の子の礼儀正しさを見て「あいさつ」を覚えた。
あいさつすることで人間の友達ができ、あいさつが好きになった。

②役割：「あいさつ大使」

崇化館地域会議から「あいさつ大使」として任命され、あいさつを通して地域の絆を
深めるという任務を担っている。

③特性

妖怪の言葉しか話せないが人間の言葉は理解できる
(着ぐるみとしては声を出さない)

崇ちゃん紹介例

【基本】

「崇化館地域（そうかかんちいき）のマスコットキャラクター、あいさつ大好き、あいさつ大使の『崇（そう）ちゃん』です！」

【大人が多いとき】

「崇化館地域では『あいさつや声かけによるふれあい豊かな地域づくり』のため、あいさつ運動を行っています。隣近所の声かけは防犯にも役立ちます。あいさつ大使の崇ちゃんと一緒に元気なあいさつあふれる街を目指しましょう。」

【子どもが多いとき】

「皆さん、こんにちは（おはようございます）。元気にあいさつできているかな？崇化館地域のマスコットキャラクター崇ちゃんです。崇ちゃんは元気なあいさつが大好き！みんな、崇ちゃんに元気なあいさつを聞かせてあげてね！」

